

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-520311(P2004-520311A)

【公表日】平成16年7月8日(2004.7.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-026

【出願番号】特願2002-551508(P2002-551508)

【国際特許分類第7版】

C 0 7 C 43/13

C 0 7 C 309/10

C 1 1 D 1/14

【F I】

C 0 7 C 43/13 C

C 0 7 C 309/10

C 1 1 D 1/14

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月12日(2004.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

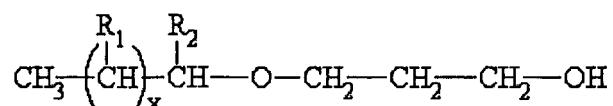
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次式で表される分岐エーテル第1級アルコールを含む分岐アルコール組成物。

【化1】

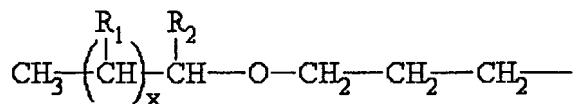


(式中、R<sub>1</sub>は水素または1~3個の炭素原子を有するヒドロカルビル基、R<sub>2</sub>は1~7個の炭素原子を有するアルキル基、xは3~16の数値であり、アルコールの炭素原子の総数は9~24である)

【請求項2】

式XOSO<sub>3</sub>M(式中、Mは水素またはカチオン、Xは次式で表される)で表されるアルキルエーテル硫酸塩を含むアルキルエーテル硫酸塩組成物。

【化2】

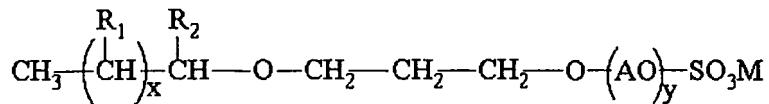


(式中、R<sub>1</sub>は水素または1~3個の炭素原子を有するヒドロカルビル基、R<sub>2</sub>は1~7個の炭素原子を有するアルキル基、xは3~16の数値であり、アルキルエーテル硫酸塩の炭素原子の総数は9~24である)

## 【請求項3】

次式で表されるアルコールアルコキシ硫酸塩を含むアルコールアルコキシ硫酸塩組成物。

## 【化3】

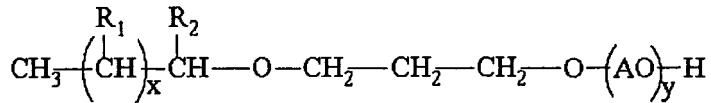


(式中、R<sub>1</sub>は水素または1～3個の炭素原子を有するヒドロカルビル基、R<sub>2</sub>は1～7個の炭素原子を有するアルキル基、xは3～16の数値、Aは2～4個の炭素数のアルキレン基、yは1～9の数値であり、Aを除いたアルコールアルコキシ硫酸塩の炭素原子の総数は9～24であり、Mは水素またはカチオンである)

## 【請求項4】

次式で表されるアルカノールアルコキシレートを含む分岐アルカノールアルコキシレート組成物。

## 【化4】



(式中、R<sub>1</sub>は水素または1～3個の炭素原子を有するヒドロカルビル基、R<sub>2</sub>は1～7個の炭素原子を有するアルキル基、xは3～16の数値、Aは2～4個の炭素数のアルキレン基、yは1～9の数値であり、Aを除いたアルカノールアルコキシレートの炭素原子の総数は9～24である)

## 【請求項5】

R<sub>2</sub>が1個の炭素原子を有するヒドロカルビル基である請求項1、2、3、または4に記載の組成物。

## 【請求項6】

R<sub>1</sub>が水素である請求項5に記載の組成物。

## 【請求項7】

xが3～13の数値である請求項1から6のいずれか一項に記載の組成物。

## 【請求項8】

請求項2、3、または4に記載の、あるいは請求項2、3、または4に従属する場合の請求項5、6、または7に記載の組成物を含む洗浄剤組成物。

## 【請求項9】

平均炭素数が3～18のオレフィンを1,3-プロパンジオールと、オレフィンをジオールと反応させるのに有効な触媒の存在下、分岐アルコール組成物を生成させるのに有効な条件下で接触させることを含む、請求項1、5、6又は7の何れか一項に記載の分岐アルコール組成物の製造方法。

## 【請求項10】

a) 平均炭素数が3～18のオレフィンを1,3-プロパンジオールと、オレフィンをジオールと反応させるのに有効な触媒の存在下で接触させ、それによって分岐アルコール組成物を生成させること、および

b) 分岐アルコール組成物を硫酸化剤と、分岐アルキルエーテル硫酸塩組成物を生成させるのに有効な条件下で接触させることを含む、請求項2、5、6又は7の何れか一項に記載の分岐アルキルエーテル硫酸塩組成物の製造方法。